



YOUTH

第30回日本クラブユース(U-18)選手権
全国大会出場果たせず

菅井順平

蟹澤真人



丸山和男



金生谷 仁



山地 翔



浜田水輝



永田拓也



山田直輝

浦和レッズユースは第30回日本クラブユース(U-18)選手権関東予選で敗れ、Jヴィレッジで行われる夏の全国大会出場を果たせなかった。

関東予選2次リーグを3勝0敗と好調なスタートを切ったレッズユースだが、4戦目で川崎フロンターレU-18に逆転負け。最終戦ではFC東京U-18に後半先制したが追い付かれ、1-1の引き分け。通算3勝1分け1敗となった。3勝2分けのFC東京に及ばずCグループ3位となり、関東ベスト8入りを逃した。

最後の出場枠をかけて臨んだ9位決定戦では、初日にヴェルディユースと対戦。

前半12分に鈴木竜基のゴールで先制したが36分にCKから同点にされる。さらに後半28分、山田直輝が勝ち越しゴールを決めたが42分にカウンターから失点。2-2の同点の末、PK戦4-5で敗れた。

関東予選6試合のうち、勝てなかった後半の3試合はすべて先に点を取りながら追い付かれる展開。リードしてからの守備、あるいは追加点を奪う攻撃など、課題が見えた大会だった。

レッズユースは7月にプリンスリーグU-18関東の試合が控えており、秋の高円宮杯全国ユース(U-18)出場権をかけて負けない戦いが続く。

(1面の写真はすべて6月24日のヴェルディユース戦から)

ACTION RESULT

日本クラブユースサッカー(U-18)選手権
関東2次リーグCグループ

- 5/27 8-0 フットワーク
得：鈴木竜基 2、林容平 2、金生谷仁、大谷幸輝、岡本翔平、浜田水輝
- 6/3 9-0 水戸ユース
得：林容平 2、鈴木竜基、宮川貴司 2、金生谷仁、蛭原弘貴、中山透、村松勇太
- 6/4 4-0 甲府ユース
得：佐藤謙介 2、蛭原弘貴、山田直輝
- 6/11 1-3 川崎U-18
得：鈴木竜基
- 6/18 1-1 FC東京U-18
得：鈴木竜基

関東9位決定戦準決勝

- 6/24 2-2 ヴェルディユース
(PK4-5)
得：鈴木竜基、山田直輝

ACTION SCHEDULE

プリンスリーグU-18関東2006

- 7/2 小山南高(駒場・13時半)
- 7/9 横浜Mユース
(日産フィールド小机・11時)
- 7/15、17 順位決定戦
(長生フットボールパーク、秋津サッカー場など)

見えた課題を8月で強化する
まずは、高円宮杯出場を

育成担当統括(強化・育成部課長) 村松 浩

今年のチームは、守備でリーダーシップを取れる選手が不足していることが懸念されていました。したがって全員で守るということ意識してやってきましたが、局面で個々の勝負になったときに踏ん張りきれないところがあります。セットプレーで相手をつかみきれずやられてしまったり、という場面などはまさにそれだと思います。先制点は一度も取られていないのですから、90分通してやりきる、という点で今年の選手たちはまだ経験が少し足りないのかな、と思います。FC東京戦も、ヴェルディ戦も拮抗した時間帯に、相手が強く出てきたときに守りきれませんでした。そういう部分を鍛えていく必要があるでしょう。

攻撃ではまずまず点が取れていますが、1点で満足せずに2点目を狙う姿勢を強く出さないとダメです。

全体として、まだ未熟だと言えます。うまくプレーできるときもありますが、本当に正確に強くやらなければいけないときにルーズになったりする部分など、大事なところで頑張れる経験が足りないところがあります。

課題が見えてきていますから、プリンスリーグの残り試合で高円宮杯出場を決めて、8月の空いた時間でしっかり強化する、ということになるでしょう。

また6試合を通じて多くの選手が出場しました。1年生や2年生も頑張ればチャンスがあるという状態ですし、3年生も刺激を受けたことでしょう。この気持ちも今後につなげていって欲しいと思います。

第30回日本クラブユース(U-18)選手権関東予選2次リーグから

水戸ユース戦 (6/3・レッズランド 9-0)



鈴木秀史



金子大樹

高橋大輝



宮川貴司



甲府ユース戦 (6/4・レッズランド 4-0)



中山透



佐藤謙介

原口元気(ジュニアユース)



矢部雅明

川崎U-18戦 (6/11・レッズランド 1-3)



村松勇太



三森翔



大谷幸輝



広瀬祐太

FC東京U-18戦

(6/18・東京ガス深川グラウンド 1-1)



蛸原弘貴



林容平



鈴木竜基



田中宏育

第21回日本クラブユース(U-15)選手権関東予選 全国大会出場まであと1勝！ 決勝トーナメントでさらにパワーアップを

浦和レッズジュニアユースは、6月10日から行われている第21回日本クラブユース(U-15)選手権関東予選で、予選リーグを勝ち抜きベスト16に進んだ。あと1勝で全国大会出場が決まる。

予選リーグBブロックに入ったレッズジュニアユースは、初戦でヴィヴァイオ船橋に快勝。第2戦で横浜F・マリノスジュニアユースにも5-2で圧勝し、最後はレイソル青梅を2-0で完封した。県予選では7試合無失点だったが、関東では計3失点するなど課題も見えながら3戦全勝。ブロック1位となった。

7月1日から始まる決勝トーナメントの1回戦で三井千葉SCに勝てば、Jヴィレッジで行われる全国大会(8月11日~20日)に進む。初戦で敗れた場合は9位決定トーナメントを勝ち抜けば全国行きの切符を得る。Jクラブの下部組織がひしめく決勝トーナメントで厳しい戦いを経験し、さらにパワーアップを目指す。



岡本拓也



加瀬 光



矢島倫太郎



磯部裕基



石沢哲也



長谷川 凌



渋谷将太

中島聡志

高瀬優孝



池西 希



ACTION RESULT

日本クラブユースサッカー(U-15)選手権

関東予選

予選リーグ Bブロック

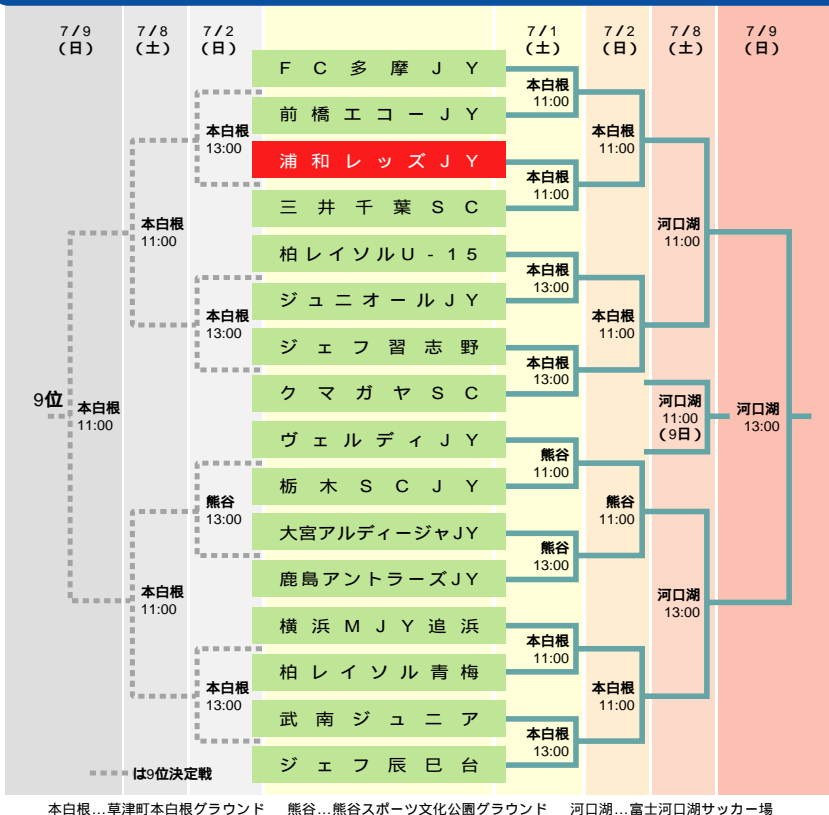
- 6/10 4-1 ヴィヴァイオ船橋
得: 矢島倫太郎、蓑本啓太、原口元気、利根川良太
- 6/11 5-2 横浜M
得: 蓑本啓太3、矢島倫太郎、原口元気
(以上、秩父影森グラウンド)
- 6/17 2-0 レイソル青梅
得: 矢島倫太郎、利根川良太
(与野八王子グラウンド)

秩父でもサポーターの応援があった
(6/10 / ヴィヴァイオ船橋戦)



2-1で折り返した後半22分、矢島(7)がゴールを挙げ2点差とする
(6/11 / 横浜M戦)

第21回日本クラブユース(U-15)選手権関東予選 決勝トーナメント組み合わせ



ACTION SCHEDULE

日本クラブユースサッカー(U-15)選手権

関東予選

決勝トーナメント

- 7/1 1回戦 vs 三井千葉SC
- 7/2 準々決勝
(以上、草津町本白根グラウンド)
- 7/8 準決勝
- 7/9 決勝
(以上、富士河口湖グラウンド)

これから強い気持ちが必要される

アスレティック・トレーナー 安齋健太郎



関東大会になって新2年生がだいぶチームになじんできたので、チーム全体に声とまとまりが出てきました。昨年のこの時期にくらべてチームのレベルはそう変わらないと思います。もう少し笑顔が出てくると非常に楽しみです。

まだ今年は厳しい試合を経験していないので、これからもっと精神的な強さが要求される場面が出てくるでしょうが、この1年を通じて選手たちがどう変わっていくか、楽しみです。

トレーナーとして言うと、この年代は心の変化と同時に体の変化もある時期で、つらい選手もいるでしょうが、この時期だからこそ頑張って乗り越えてほしいと思います。僕は彼らの2年目の変化を見ることになるので、そういうことを意識して見守っていきたくと思っています。

どんな環境でも、自分たちのパフォーマンスを百パーセント出す。力のある選手たちですから、自分たちのふだんの力が出せば結果がついてくると思います。

もっと決定力をつけたい

FW 蓑本啓太



予選リーグで3勝できたことは良かったですが、失点もしましたし、もっと点を取れるところもあったと思います。点差が開いたときにチームの守備意識が弱くなるところがあって、最後にやられてしまうことがありました。自分も決定力をもっとつけていかないと、今後苦戦して涙を飲むのは嫌です。

2試合目の横浜M戦でハットトリックできましたが、周りのおかげです。あの試合は、難しい試合になるとみんなが思っていたので、チームが一つになって戦った結果だと思います。

決勝トーナメントの1回戦は、次の試合のことなど考えずに、前日から試合だけに集中できる環境を作って、初戦にすべてをかけたかったです。

去年の経験生かして頑張る

DF 森田健介



予選リーグは1試合も簡単なものではなく厳しかったですが、チームが一つになって勝ち抜くことができました。自分もロングボールなどを練習通り上げられたので良かったです。無失点でいこうとみんなで言っていたんですが、少し気が緩んだところで取られてしまいました。でもその失点があって、最後は無失点でいけたと思います。

去年は3年生に交じってやらせてもらったので、自分のそういう経験を生かして頑張ります。去年は3年生が引っ張ってくれて、うまく試合に入っていたので、今年は自分たちがみんなを引っ張っていきたくと思っています。

試合を追って流れに乗れた

MF 利根川良太



厳しい暑さの中でも、みんな最後まであきらめずに戦ったので、こういう結果がついてきたと思います。自分自身、県大会の最初はうまく試合に入っていけなかったのですが、試合をこなしていくうちに流れに乗れるようになりました。

関東大会になって、相手のプレッシャーも厳しくなったし、スピードもあるので、先にいいプレーをすることを考えて、どんどん積極的にゴールを狙っていました。今年はトップ下をやらせてもらっていますが、自由にできるし、二列目から飛び出していくこともできます。

去年は全国優勝しましたが、自分は試合に出られず残念だったので、今年こそ頑張りたいです。